



## 創刊のことば

財団法人骨髄移植推進財団理事長 小池 欣一

白血病や重症再生不良性貧血などの血液難病に苦しむ患者さんを、骨髄移植という根治的療法で一人でも多く救うことを目的に、(財)骨髄移植推進財団が幅広い関係各位のご支援によりまして、昨年12月18日に設立されました。以来、厚生省主導のもと、当財団が実施主体となり、日本赤十字社の協力を得て、昨年12月18日から骨髄提供希望者(ドナー)の登録を行い、本年6月22日からは、患者さんの登録も開始しました。現在、白血球の型(HLA型)の適合ドナーの検索から、コーディネーション(連絡調整)を経て骨髄移植の段階にはいるなど、我が国の公的骨髄バンク事業はいよいよ本格的時期を迎えつつあります。

ご承知のとおり、骨髄バンク事業は骨髄提供を希望してご登録下さった皆様方(ドナー)に支えられて成り立っています。骨髄移植を必要とする患者さんは、年間約1,500人とされており、当財団は、これらの患者さんのほとんどが骨髄移植を受けられるように、5年間で10万人のドナー登録を目標に諸事業の展開を図っております。

9月末現在でご登録いただいたドナー数は、13,258人を数えています。これら、ドナーとしてご登録下さった方々は、人の命を救うという骨髄バンクの使命を深くご理解いただき、お仕事や生活にご多忙な中を血

液検査を受け、登録手続きをされたのでありまして、この崇高なお志に心から敬意を表し、深く感謝申し上げます。

先日、兄さんを救うために骨髄を提供した弟さんが、麻酔に伴うと思われる事故のため、植物状態に陥り死亡するという、まことに痛ましい事故がありました。当財団としては、今回のわが国初のこの事故をふまえ、ドナー登録された皆様方や御家族の方に対し、このような事故も極めて希れには起こり得ることを今後とも十分ご説明致し、そのうえで、自主的なご判断をいただくよう、適切な事業の推進に努めてまいり所存であります。この点、皆様方のご理解・ご協力を賜わりたいと存じます。

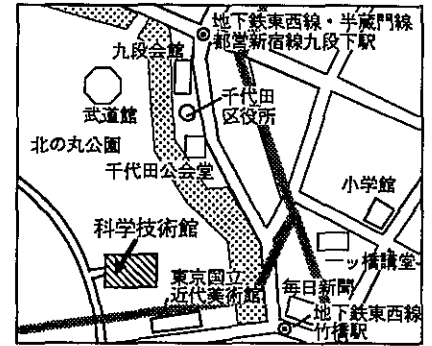
この財団ニュースは、ドナー登録された皆様方をはじめ、骨髄バンク事業を推進して下さる皆様方及び関係各位と当財団との橋渡し役として、幅広く活用されることを願って創刊の運びとなりました。皆様方の積極的なご参加をいただき、よい機関紙となるよう、皆様方の今後の一層のご協力をお願い申し上げます。

# 骨髓バンク事業一周年記念

全国大会開催のお知らせ



- 日時：12月12日(土)  
午後1時～午後4時
- 場所：科学技術館サイエンスホール
- テーマ：骨髓バンク事業の発展をめざして



東西線・半蔵門線・都営新宿線  
竹橋駅より徒歩7分

●住所▶〒101 東京都千代田区北の丸公園2-1  
03-3212-8471

骨髓バンク推進月間

12月1日～12月31日

## ドナーの事故について

骨髓採取にともなうドナーの事故が、東京都内の病院にて平成2年11月に血縁者間の骨髓移植で起こりました。残念なことにそのドナーの方は平成4年8月に亡くなりました。日本では、もちろん初めてのことです。同病院では、事故後直ちに医学的院内究明委員会を設置し、外部の専門家の意見も参考に医学的原因について検討した結果、「何らかの原因による特異な神経原性ショック及び、それに続く高度の無酸素性脳症により意識不明に陥った」との結論が発表されました。麻酔によると思われるきわめて稀な不可抗力の事故とはいえ、非常に残念なことです。

財団ではわが国初の今回の事故を今後の尊い教訓と受け止め、以下のことを早急に行っております。

- ①麻酔による危険の可能性をひろく一般の方々に理解してもらうため、ドナー登録用パンフレット・ビデオを作り直した。
- ②関係方面に対し財団の立場を明確にするとともに、普及活動においては、正確な情報を盛り込むよう、要請した。
- ③全国のコーディネーターに対し、ドナー候補者への説明の際には、危険性に関する情報も十分に提供し、その上で同意をいただくよう周知徹底する。
- ④全国の骨髓採取指定病院・骨髓移植指定病院を対象に、いままでの骨髓採取に関わる詳細な副作用発生状況の調査を行う。
- ⑤万が一の事故のための損害賠償補償を5,000万円から1億円に引き上げた。

平成4年12月に、九州にて骨髓移植研究会が開催され、その際に今までの骨髓採取に関する事故報告が発表される予定です。その発表は次回の骨髓バンクニュースに掲載いたしたいと考えております。

今後、ご自身の登録ひいては骨髓採取に関し、ご質問等が、ございましたら当財団までお問い合わせ下さい。

## ホセ・カレーラス チャリティコンサート決定



バルセロナオリンピックの開  
会式で美声を披露したホセ・カ  
レーラスが骨髄バンクの普及啓  
蒙活動と資金援助のためチャリ  
ティコンサートを開催します。

ホセ・カレーラス自身も白血病を患い、1988年に骨  
髄移植を受け今では元気に社会復帰しています。彼も  
母国では白血病患者の救済のための財団を作って骨髄  
バンク活動をしており、今回日本で骨髄バンクへの協  
力の一環として、チャリティコンサートを開催するこ  
とになりました。1993年3月10日東京にて開催予定で  
す。詳細は当財団までお問い合わせ下さい。

## 登録状況

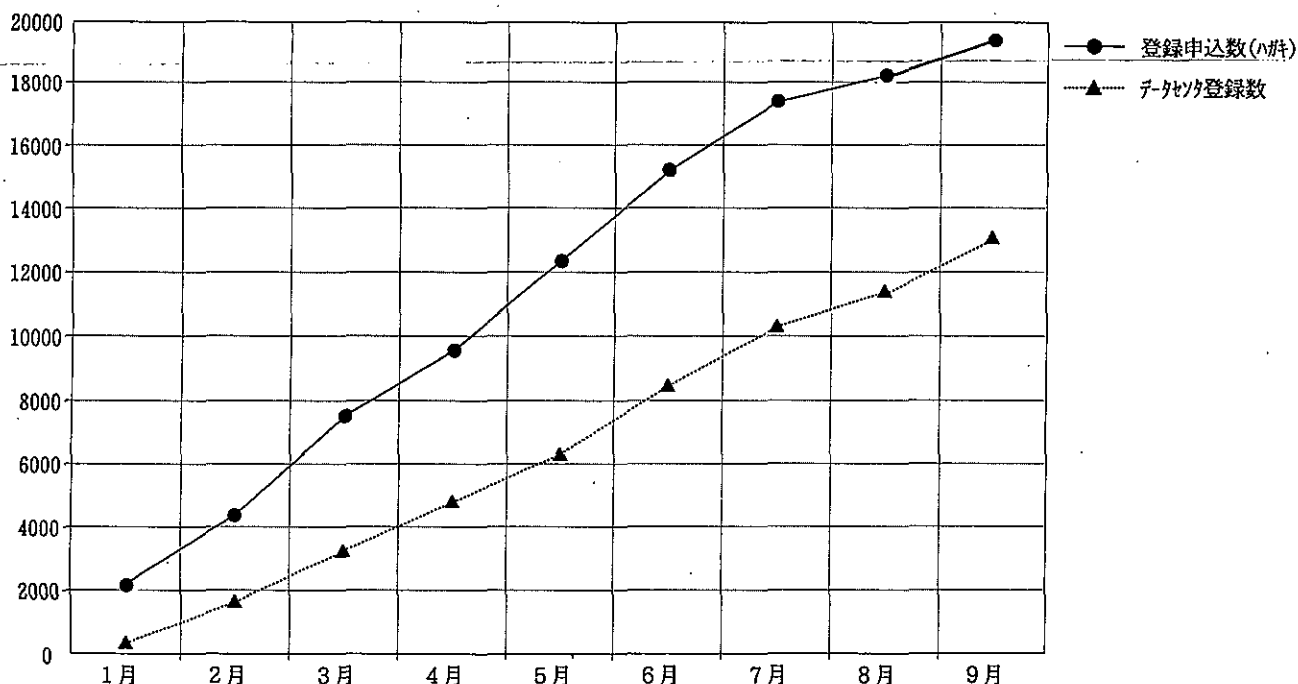
平成3年12月18日に提供希望者の受付を開始してか  
ら、多くの皆様にご協力をいただき、9月末現在ド  
ナー登録数は13,258人になりました。心よりお礼申し  
上げます。

一方、患者登録申込総数も556人になり、データセン  
ターにて照会した結果、約32%の提供希望者の方へ2

当財団の広報活動に、各界より積極的な御協力をい  
ただいております。国民栄誉賞を受賞された王貞治さ  
んが顧問として、またタレントのケント・デリカット  
さん、歌手の刀根麻理子さんなど、多くの方々から応  
援をいただいております。今後も、皆様方の御協力をお  
願いしたいと存じます。



●ドナー申込・登録件数（平成4年9月末現在：累計）●



## 賛助会員へのお願い

日頃は、骨髄移植推進財団に対し、ご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当財団では、骨髄移植に関する普及啓発および、骨髄提供者の募集と骨髄移植までの連絡調整活動など、国民の健康の増進に寄与することを目的として事業を行っております。どうか当財団の事業に賛同いただき、賛助会員としてご加入下さいますよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。

年間費 個人会員 1口 1万円

団体会員 1口 10万円

賛助会費振込先

口座名義 (財) 骨髄移植推進財団賛助会費口座

銀行名 第一勧業 銀行本店

口座番号 普通預金 4036040

財団法人 骨髄移植推進財団

理事長 小池 欣一

## 理事紹介

### 財団法人骨髄移植推進財団役員名簿

(敬称略)

|      |       |                  |
|------|-------|------------------|
| 理事長  | 小池 欣一 | 学校法人 日本社会事業大学理事長 |
| 副理事長 | 高久 史磨 | 国立病院医療センター院長     |
| 理事   | 岩尾 一  | 三井海上火災保険株式会社顧問   |
|      | 内野 治人 | 日本血液学会理事長        |
|      | 加藤 一郎 | 学校法人 成城学園学長      |
|      | 川口 幹夫 | 日本放送協会会長         |
|      | 河村 喜典 | 日本製薬団体連合会会長      |
|      | 桑田弘一郎 | 社団法人 日本民間放送連盟会長  |
|      | 斎藤 英彦 | 名古屋大学医学部長        |
|      | 鈴木 俊一 | 全国知事会会長          |
|      | 先崎 武  | 財団法人 骨髄移植推進財団    |
|      | 高木敬次郎 | 社団法人 日本薬剤師会会長    |
|      | 竹中 浩治 | 社会福祉・医療事業団副理事長   |
|      | 中江 利忠 | 社団法人 日本新聞協会会長    |
|      | 中原 爽  | 社団法人 日本歯科医師会会長   |
|      | 西村 宏一 | 東海大学法学部教授        |
|      | 平岩 外四 | 東京電力株式会社会長       |
|      | 三浦 大助 | 全国市長会代表          |
|      | 村瀬 敏郎 | 社会法人 日本医師会会長     |
|      | 柳田 邦男 | 作家               |
|      | 山岸 章  | 日本労働組合総連合会会長     |
|      | 山城 時正 | 全国町村会代表          |
| 監事   | 奥田 正司 | 株式会社第一勧業銀行頭取     |
|      | 河野 俊二 | 東京海上火災保険株式会社社長   |

## 寄付についてのお礼とお願い

平成3年12月財団発足以来、多くの方から厚いご寄付をいただき、誠にありがとうございます。心より厚くお礼申し上げます。

平成4年9月末現在の寄付件数は418件、寄付金額は2億6,437万円、そのうち約1億6,570万円を基本財産に組み入れさせて頂きました。安定した財政基盤を確立するために8億円の基本財産を目標に皆さんの寄付を募っております。引き続き皆様方には、資金面でもご援助をいただければ、幸いと存じます。

一般寄付口座名

口座名：(財) 骨髄移植推進財団

口座番号：第一勧業銀行 本店 普通預金 4000593

寄付金控除の適応が受けられます。

## 編集後記

全願の公的骨髄バンクは設立と同時に大きな反響を呼び、対象となる患者に大きな希望を与えております。これは、日本の文化そのものの高さを示すものと思われまふ。今まで公的骨髄バンクの設立を目指して頑張ってきたボランティアの皆様をはじめ、関係者の方々のご努力に改めて敬意を表す次第です。

そんな中、8月初めに公表された骨髄採取に伴う事故について、皆様には大変ご心配をおかけいたしました。私たちスタッフも一時はどうなることかと衝撃を受けましたが、落ち着いて考えますと、広く国民に開かれた骨髄バンク事業を進めていくことを確認する重要な一歩だととらえることができます。原点に戻って、骨髄バンク事業がますます発展するよう、皆様と力を合せていきたいと思ひます。

よろしくお願ひ致します。

普及広報委員会